

新しい薬学をめざして

Vol. 52 No. 6
2023.8.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8

E-mail sigma-info@faruma.co.jp

一般社団法人大阪ファルマプラン 気付

郵便振替口座 01090-8-16463

TEL 06-6477-8088 (担当 廣田) FAX 06-6477-8090 URL <http://pha.jp/shin-yakugaku/>



牧野富太郎の話

水上 元

1. はじめに

牧野富太郎（写真1）をモデルとするNHKの連続テレビ小説「らんまん」の放映が進んでいます。朝ドラ62年の歴史で科学者を主人公とするのは初めてのことです。私が子供の時には、エジソンや北里柴三郎らとともに牧野富太郎の子供向けの偉人伝が書店や学校の図書室に並んでいましたが、いつからかそういうシリーズから排除され、牧野富太郎の名を知る人は少なくなっていました。朝ドラの放映を機に、牧野富太郎はもちろん、植物や植物園が色々な媒体で取り上げられることが驚くほど増えています。私は牧野富太郎を知ることは人間と自然の基本要素としての植物との向き合い方を考える上での契機になるのではと考え、高知の仲間と「牧野富太郎を朝ドラに」という運動を行ってきました。私の期待と予想を超えて、牧野富太郎への関心が高まっていて、朝ドラの影響に驚いています。先日久しぶりに牧野植物園を訪れましたが、下を向いて歩いている（園路沿いの植物を見ながら歩いている）来園者が増えていくという話を聞きました。とてもうれしいことです。

牧野富太郎は、1862年4月24日（旧暦：新暦では5月22日）に現在の高知県高岡郡佐川町に生まれました。坂本龍馬脱藩の1か月後、大政奉還の5年前のことです。14歳で小学校を中途退学して以降は植物学とその関連分野をほぼ独学で学びました。そして東京大学¹⁾を研究の主たる舞台として、様々なあつれきや貧困とたたかいながら、94年の生涯をかけて日本における植物分類学の発展に大きな



写真1 牧野富太郎38歳（東京大学理学部植物学教室の助手室にて）²⁾。

目 次

□牧野富太郎の話	水上 元……………161
□福島のいま（その89）	佐藤政男……………166
□医薬品等・行政評価監視委員会の活動内容（その5）	
緒方信明, 里見佳子, 野村充代, 寺岡章雄……………	172

□エッセー“一人ぶつぶつ思うこと”（3）	
日本舞踊“英（はなぶさ）流”との出会い～地域ボランティア活動30年～	工藤克己……………184
□玉枝の平和だよりから（18）	
731部隊 元少年兵の証言 —「加害の歴史」を語り継ぐ—	中村玉枝……………187